

## ミャンマーで「ワンヘルス講演会」!!

令和6年1月25日（木）、ミャンマー・ヤンゴンにおいて「ワンヘルス講演会」が行われました。

この講演会は、ミャンマー国軍の軍事政権下ではありましたが、ミャンマー獣医師会（MVA）とミャンマー畜産連盟（MLF）の主催により開催されたものです。

藏内勇夫アジア獣医師会会長（FAVA）は、ミャンマー獣医師会からの招待を受けての講演となりました。

藏内会長は、「日本におけるワンヘルスの取組」と題して講演されました。

講演の主な内容は、

1. 私のワンヘルス活動
2. 日本におけるワンヘルスのこれまで
3. 福岡県の取組 　　です。



今回の講演の最後に、藏内会長は、以下のように述べられました。

人獣共通感染症の発生するリスクの高いアジア地域において、我々獣医師や医師が連携して新たな人獣共通感染症に備えることが大変重要です。

そして、人獣共通感染症はもとより、地球規模での薬剤耐性菌問題や生態系の保全、畜産物の生産性向上による食糧の安定供給など、獣医師の専門性が必要とされる領域は、きわめて多岐にわたっています。

こうした地球規模の課題は、一国のみでは解決しえない問題であり、国際的に連携して取り組んでいかなければなりません。

アジア・オセアニアの23の国・地域の獣医師会の連合であるアジア獣医師会連合（FAVA）のネットワークが大きな役割を果たすものと考えています。

私は、このFAVAの強力なネットワークをもって、獣医界の発展はもとより、よりよい社会の構築に貢献したいと考えています。

（一部抜粋）



また、今回は、一般社団法人ワン・ヘルス・クリエイツの芝田良倫理事長も同行され、「市民レベルでのワンヘルスの取組」と題して講演されました。

ワンヘルスカー（キッチンカー）を使った啓発活動、福岡県主催のワンヘルスフェスティバル、ワンヘルスフェスタの運営における県民・市民に向けた広報活動、植樹活動としてのワンヘルスセンダンプロジェクト、ゴミ減量サイクル活動とワンヘルス教育活動やワンヘルス講演会等について説明されました。

2024年1月30日

福岡ワンヘルス協議会・事務局